

まごころ高槻

2022

Vol. 21

5 May

特集

泌尿器科が新体制に！

～さらに充実した診療体制で対応します～

新任医師のご紹介

認定看護師コラム

ご家族の方と心をつなぐオンライン面会

診療所ご紹介

Let's COOKING! From 栄養課
INFORMATION



泌尿器科が新体制に!

～さらに充実した診療体制で対応します～

泌尿器科は、腎臓、尿路(尿管・膀胱・尿道)の疾患や男性生殖器を扱う外科系診療科です。4月から常勤医師が新しく2名着任し、より充実した3名での診療体制となりました。どのような症状を診療しているのか、増強される新診療体制とともに紹介します。



尿の悩みから悪性腫瘍、男性更年期障害など幅広く診療

泌尿器科は、尿もれ、排尿痛など男女共通の尿の悩みを扱うイメージが強いのと思います。実は、腎臓・尿管・膀胱・尿道といった後腹膜骨盤内臓器や男性生殖器も含めて、幅広い領域を扱い、手術も行う外科系診療科です。

具体的な疾患としては、血尿や激しい痛みをともなう尿路結石症、尿が出にくいなどの排尿障害が生じる前立腺肥大症、排尿痛がある膀胱炎、尿意を我慢することができない過活動膀胱、尿もれ、夜間頻尿などがあります。

また、悪性腫瘍として、日本の男性のがん罹患数第1位の前立腺がん(国立がん研究センター 2018年調査)や、膀胱がん、腎臓がんも診療の範囲です。他にも、最近話題になっている男性更年期障害や勃起障害(ED)などのメンズヘルスにも対応しています。

気になることがあれば、まずは受診を

泌尿器科は心理的になかなか受診しにくいという声が多く、特に女性はためらいがちだと聞きます。外来診療は問診や超音波検査が中心で、必要な場合はCT画像検査を行います。羞恥心をとまなうような診療や検査を初診で行うことはほとんどありません。安心して受診していただきたいと思います。

特に気をつけていただきたいのは、血尿が出たとき。血尿は体から出る赤信号で、何らかの異常があると考えられます。

また、最近話題になっているのは、男性の更年期障害です。40歳以降の男性に起こることが多く、なんとなく元気がない、気分が落ち込む、性機能の低下が気になるという症状が現れます。男性ホルモンの一種のテストステロンを補充すると改善することが多く見られます。ぜひご相談ください。

体への負担が少なく、効果の高い治療を選択

当院での治療は外来診療が中心ですが、手術も行っています。

例えば、尿路結石症は、体に負担の少ない経尿道的治療を積極的に行っています。これはホルミウム・ヤグレーザーを使用し、尿道に内視鏡を挿入してレーザーで結石を粉碎、回収する手術です。あまりに大きな結石には対応できませんが、ほぼこの方法で治療が可能です。

膀胱がんも、がんが膀胱の粘膜にとどまっているものについて、当院では経尿道的手術を行っています。この手術では尿道から内視鏡を挿入し、がんを切除します。病巣が深い膀胱がんや前立腺がんについては、

現状では当院で対応が難しいため、近隣の医療機関をご紹介します。この場合も、組織を採取し、顕微鏡で調べて確定診断をする生体検査までは当院で行っています。なお、4月から診療体制が強化されたことで、今後はがんの手術、治療ともに積極的に幅広く対応できるのではないかと考えています。

また、性別にかかわらず飲み薬で改善されない頻尿、尿失禁の症状がある過活動膀胱の患者さんに対して、ボツリヌス療法を行っています。ボツリヌス毒素を膀胱壁に注入する方法で非常に効果があります。こちらは2020年4月から健康保険適用となりました。高齢者や出産後の女性に多い尿もれに対する内服薬治療や、尿失禁手術にも対応しています。

4月から診療枠を増加し、地域医療に貢献

これまで常勤医1名体制でしたが、4月から常勤医2名が加わり、3名体制となりました。これにともない3つの診療方針を掲げ、診療体制をより充実させます。

1つ目は、「医師増加にともなう診療体制の増強」です。月曜日から金曜日の午前中および月・水・金曜日の午後に外来診療を開業いたします。手術については、これまで限られた症例しか対応できていませんでしたが、今後は幅広く対応可能になると考えています。さらに救急医療もより充実した対応ができるようになります。これにより外来の患者さんや入院患者さんおよび、地域の医療機関にご紹介いただく際に、十分に納得、信頼いただける医療を提供し、地域医療により

貢献できることと思います。

2つ目は、医師、排尿ケアチーム専任看護師、理学療法士による「**排尿ケアチームの設立**」です。現在、準備を進めている段階で、将来は看護師主導で活動することを考えています。このチームでは、入院中の患者さんの尿道カテーテルを一日も早く抜去し、適切な排尿ケアやリハビリテーションを行い自立した排尿を支援し、元の生活に戻れるようにサポートします。尿もれの予防・改善を目指す骨盤底筋体操も指導します。

3つ目は、みどりヶ丘ヘルスケアグループ内の茨木みどりヶ丘病院とともに、「**高槻市・茨木市の医療圏をカバー**」することです。茨木みどりヶ丘病院の外来診療を週3回に増やし、日帰り手術、日帰り検査にも対応していきたいと考えています。

当院の基本理念である「真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献します」に基づき、高槻・茨木医療圏内において、さらに信頼いただける診療を心がけてまいります。気兼ねなくご相談ください。



泌尿器科 部長

濱口 卓也

Takuya Hamaguchi

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医

▶ 新任医師のご紹介

▶ 整形外科

副院長 兼 部長
藤岡 幹浩 Mikihiro Fujioka

京都府立医科大学大学院医学研究科 医学博士、日本整形外科学会整形外科専門医
 日本リハビリテーション医学会認定臨床医
 日本リハビリテーション医学会専門医・指導医
 京都府立医科大学大学院医学研究科 運動器機能再生外科学 臨床教授
 京都府立医科大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学 臨床教授
 日本股関節学会 評議員、日本リハビリテーション医学会 代議員
 日本リハビリテーション医学会近畿地方会 幹事、京都府リハビリテーション教育センター運営委員



京都府立医科大学整形外科准教授から京都武田病院人工関節センター長を経て、2022年4月1日にみどりヶ丘病院へ赴任いたしました。これまでは人工股関節を中心に年間180件ほど、トータルで2,000件以上の手術を行ってきました。人工股関節手術は早ければ40分で終わります。手術翌日からしっかり歩いて楽しくリハビリができます。コロナ禍が明けたときには旅行もスポーツもできるようになって人生を謳歌しましょう。そして、若々しく歩いて友達をびっくりさせてやろうではありませんか！

▶ 消化器外科

副部長
荒木 康伸 Yasunobu Araki

日本外科学会外科専門医
 日本消化器外科学会消化器外科専門医
 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 インфекションコントロールドクター



1998年京都府立医科大学を卒業後、同大学消化器外科医局に所属し、今回の赴任にいたります。専門は、ヘルニア・痔を含めた消化器外科一般・内視鏡外科・消化器がん治療です。治療方針を決定する上で、基本はガイドラインに準拠することになりますが、各々の患者さんの背景・環境は異なります。患者さんやご家族と相談しながらよりよい治療を行っていく所存です。何卒よろしくお願いいたします。

▶ 脳神経内科

千葉 哲矢 Tetsuya Chiba

日本神経学会神経内科専門医
 日本内科学会認定内科医
 日本救急医学会ICLSコースインストラクター
 日本救急医学会ISLSコースインストラクター
 日本内科学会JMECCコースインストラクター



出身は宮城県で、大学卒業後は宮城県に戻り、一般内科を主とした地域医療を行いました。その後、2019年より国立循環器病研究センター脳内科で脳卒中内科・脳神経内科を勉強させていただき、今年4月にみどりヶ丘病院脳神経内科に赴任しました。高槻の地域医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。お困りごとがありましたら、気軽にご相談ください。

▶ 脳神経外科

相原 寛 Hiroshi Aihara

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医
 日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医
 日本脳卒中の外科学会技術認定医・技術指導医
 日本脳神経血管内治療学会脳神経血管内治療専門医



これまでは中国・四国地方を中心に勤務し、脳卒中に対する外科手術や脳血管内手術を主に担当していました。よろしくお願いいたします。

▶ 脳神経外科

松井 雄哉 Yuya Matsui

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医



脳神経外科領域の中でも特に脳血管障害を中心に診療にあたっていきたくと思っています。常にわかりやすい説明を心がけていきます。何卒よろしくお願いいたします。

▶ 泌尿器科

福井 勝也 Katsuya Fukui

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医



大学病院で13年間泌尿器科の経験を積んだ後、民間病院で6年間、内科と泌尿器科に従事してまいりました。常々、医療にはコミュニケーションが重要と考えています。患者さんやご家族としっかりコミュニケーションをとり、日々、診療をしてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

▶ 泌尿器科

馬場 雅人 Masato Baba

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
 日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医



4月より泌尿器科医として勤務させていただいております。これまで主に滋賀県の病院で泌尿器がんや排尿症状、尿路結石症など様々な疾患に携わってきました。排尿についてお困りなことがありましたら気軽にご相談ください。

▶ 消化器内科

小柴 良司 Ryoji Koshiba

日本内科学会認定内科医
 日本消化器病学会消化器病専門医
 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医



出身大学は大阪医科大学で、今年で11年目です。専門分野は炎症性腸疾患ですが、胃カメラや大腸カメラなど内視鏡検査をはじめ、消化器内科全般の診療を行い、地域医療に貢献できるように頑張ります。

▶ 消化器内科

西田 晋也 Shinya Nishida

日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
 日本内科学会認定内科医
 日本消化器病学会消化器病専門医
 日本消化管学会胃腸科認定医



大阪医科薬科大学第二内科に入局後は、関連病院で研鑽を積みまいりました。大学では早期がんに対する内視鏡治療を中心に学んできましたが、当院では消化管、肝臓、胆膵疾患などの消化器疾患から高血圧、脂質異常症、糖尿病などの内科疾患まで全身的に幅広く診療したいと考えています。患者さんに寄り添った医療を心がけています。何卒よろしくお願いいたします。

▶ 循環器内科

小崎 哲也 Tetsuya Kosaki

日本内科学会認定内科医
 日本循環器学会認定循環器専門医



循環器全般の診療を主に行っています。まだまだ不慣れな部分もありますが、患者さんに寄り添った医療を心がけてまいりますので、気軽にご相談いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

▶ リハビリテーション科

宮本 康平 Yasuhira Miyamoto



私は以前、理学療法士としてリハビリ業務を行っていましたが、一念発起して医師になりました。現在の医療では治癒しきれない病気がまだまだ多く、障害を抱えて生活をしている方がいらっしゃいます。そのような方々の支えとなれるように精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策について

感染管理認定看護師 是澤 陽子



新型コロナウイルス感染症の国内発生が最初に報告された日から2年が経ちました。コロナウイルスは変異を繰り返し、まだまだ先行きが不透明な状況ですが、感染拡大を防ぐためには、日ごろの感染症対策を続けていくことが大切です。基本的な感染症対策をおさらいしましょう！

①ワクチン接種

オミクロン株では、ワクチン未接種の子どもから、家庭内や学校などで感染が広がりました。このような感染の拡大を防止するため、ワクチンの小児接種や追加接種が進められています。ワクチンだけで感染を100%防ぐことはできませんが、感染予防効果を高めることはできます。ワクチン接種は、最も有効な感染予防対策です。

②マスクの着用

話をするときや人が集まる場所に行くときは、不織布のマスクをつけましょう。ウレタンマスクや布マスクは、不織布のマスクより予防効果が下がります。状況に応じたマスクを選ぶことと、

顔とマスクとの隙間を減らすことがポイントです。

③お互いの距離をあける、換気をする

感染者と距離が近いほど、飛沫を浴びるリスクが高くなります。滞留する微粒子を減らすための換気をしながら、お互いの距離をあけることで、飛沫を浴びるリスクを下げることができます。

④手指衛生・環境清掃

電話やパソコン、テーブルなど、ウイルスが付着した環境表面や物品に触れた手で、目・鼻・口に触れることで感染します。環境清掃を習慣化し、目・鼻・口に触れる前に手指消毒や手洗いをを行うことが大切です。

ご家族の方と心をつなぐオンライン面会

2019年末に新型コロナウイルス感染症が発生し、2年が過ぎました。このコロナ禍において、当院でも感染対策として入院患者さんの外出の禁止や面会制限、お荷物の受け渡し制限などを行っており、患者さんにご家族にはご協力をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

そんな中、「入院している家族のことが気になりである」「本人の元気な顔を見たい」などご家族の方からお声をいただいたり、また、患者さんは自身の病気と闘いながらご家族と会えない不安を抱えられていたりしています。患者さんにとってご家族は、精神面を支え、入院生活を送る上での原動力であると考えています。しかし、患者さんを守るための感染対策として面会制限などを行わざるをえず、大切な時間を奪ってしまっているのも事実です。

このような状況を少しでも改善するため、当院でもオンライン面会を開始いたしました。2022年1月より開始し、多くの患者さん、ご家族の方にご利用いただいています。「顔が見られて安心した」「思ったより元気そうだった」と面会が終わった後は皆さん笑顔です。1回の面会時間は5～10分と短いですが、久しぶりの面会に涙ぐまれる方もいらっしゃるなど、改めて、短い時間でも顔を見て話す時間が何よりも大切であることを感じました。これからも患者さんにご家族の心をつなぐ大切な時間づくりのお手伝いができたらと考えています。

※予約は病院ホームページおよび総合受付で行っています。



診療所で紹介

当院では地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。スムーズな情報共有によって当院と共に地域の医療を支える「医療連携協力機関」をご紹介します。

かなたに腎泌尿器科クリニック

院長 金谷 勲

■かなたに腎泌尿器科クリニック開院のきっかけは？

長らく高槻の総合病院で勤務していましたが、より大きな病院へ転勤の打診がありました。しかし、お一人おひとりの人生に向き合った診療がしたいと考え、今年1月4日に開院いたしました。

■ご専門分野について

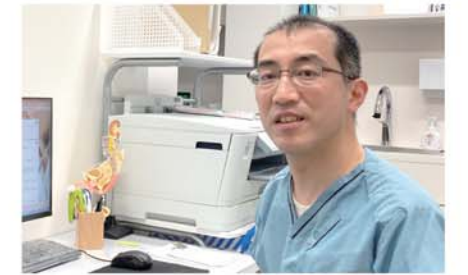
泌尿器科です。尿が出にくい、我慢できない、もれる、回数が多い、痛いなどの症状が出る前立腺肥大症、過活動膀胱、前立腺炎、膀胱炎といった排尿に関する病気が多いですが、突然腰の激痛が起こる尿管結石、腎臓、膀胱、前立腺のがんの方も多く通院されています。また、20代から80代まで幅広くEDでお悩みの方も随時受け付けています。

■地域のかかりつけ医としての想い

私は、最先端の手術や薬による治療が必ずしも患者さんの人生を明るくするわけではないと考えています。社会的立場、家族構成、人間関係や趣味なども考慮して最も適切な治療を考えていきたいと思っています。

■メッセージ

当クリニックの最大の特長になると思いますが、診療時は閉じている壁を開放すると、グランドピアノを備えたコンサート仕様の舞台スペースを設けています。趣味のピアノを通じて多くの音楽家とつながりがあり、定期的に招いて、患者さん向けにコンサートを行っています。これは、泌尿器科では直接命に影響するというより生活の質(QOL)が低下する病気が多いため、皆さんの人生を少しでも明るくするとともに音楽家を支援していきたいと思っています。



〒569-1147 大阪府高槻市土室町16-1
TEL 072-694-7764
<https://kanatani-uroclinic.com/>
【休診日】木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日
※事情により休診になる場合があります。

Let's COOKING! From 栄養課

～今が旬のアスパラと利尿作用～

5月が旬のアスパラガスには、様々な栄養素が含まれています。なかでも、アミノ酸の一種であるアスパラギン酸には利尿作用があり、尿の合成を促進し、有害なアンモニアを体外へ排出する働きがあります。さらに、疲労の原因となる乳酸を分解する作用もあり、疲労回復効果が期待できます。また、ビタミンB1とビタミンB2も豊富に含まれており、栄養素の代謝を活発にして、スタミナアップにも役立ちます。

新生活がスタートし、慣れないことも多く、知らず知らずのうちに疲労が蓄積するこの季節。そんなアスパラガスを色鮮やかな野菜と合わせて、召し上がってみてはいかがでしょうか。



アスパラとパプリカのグリルサラダ

材料 (1人分)

アスパラガス …… 40g (1/2束)
パプリカ(赤) …… 40g (1/4個)
パプリカ(黄) …… 40g (1/4個)
薄口醤油 …… 小さじ1
オリーブオイル …… 大さじ1/2
粒マスタード …… 小さじ1/2
砂糖 …… 1g

作り方

- ①アスパラガスは根元を2cmほど切り取る。パプリカは半分に切る。
- ②オーブントースターで①を焦げ目がつくまで裏返しながら5～6分焼く。
- ③②を食べやすい大きさに切り、(A)で和える。

〈1人当たりの栄養価〉 エネルギー量…100kcal
たんぱく質…1.5g 脂質…6.6g 食塩相当量…0.9g

新たに専門の資格を
取得しました

日本肝臓学会肝臓専門医

消化器内科部長
兼 内視鏡センター長

占野 尚人 医師

認定言語聴覚士
(失語・高次脳機能障害領域)

リハビリテーション部
言語聴覚士

寺山 小百合

INFORMATION

入職式を開会しました ～フレッシュな顔ぶれが揃いました～

今年度も当院では、新職員を迎え入れることができました。元気で明るい新職員たちの活躍により、当院もより活気溢れることと思います。これから研修の後、各々の部署に配属されます。初志貫徹の精神で地域の皆様に貢献できるように頑張ってください。どうぞよろしくお願いいたします。 ※入職式は感染症対策を十分に行った上で開催いたしました。

糖尿病教室の開催について

日程	テーマ	講師
5月28日(土)	毎日3分！自宅で簡単！ラジオ体操	理学療法士
6月25日(土)	検査でわかる！動脈硬化 気を付けて、低血糖とその対策	臨床検査技師 薬剤師
7月23日(土)	さまざまな病気の原因となる歯周病とは ふせぐ！とめる！こわい目の合併症	歯科医師 視能訓練士
9月24日(土)	そこが知りたい！糖尿病と認知症 認知症の画像診断	脳卒中内科医師 放射線技師
10月22日(土)	知って安心！大切な足を守ろう！ ～明日からできるケア始めましょう～	看護師

開催については、WEB配信等を検討しています。
詳細については、お申し込み時にお伝えさせていただきます。

要予約 ご予約は申し込み用紙またはお電話で承ります。

申し込み用紙は各診察室内と受付に設置しています。

お電話でご予約の場合

TEL 072-681-5717 受付時間 14:00～16:00



外来リハビリテーションの場所が移動しました。

2月8日(火)より、外来リハビリテーションの実施場所(作業療法室)が「2階」へ変更となりました。お間違えのないよう、よろしくお願いいたします。



編集後記

季節が変わりもうすぐ本格的な夏がやってきます。私は今年の春から初夏にかけてとても暑かったと感じました。季節の変わり目です。皆さんも体調管理に気を付けながら楽しい時間をお送りください。私たちもこれからの暑さに負けず、皆さんに喜んでもらえるような情報を提供していきたいです！

広報誌に関するご意見・ご感想・お問い合わせは
祐生会広報まで

祐生会広報
電話番号

072-681-5764



midori-info@midorigaoka.or.jp



社会医療法人 祐生会

みどりヶ丘病院

診療受付時間 8:15～12:00 ※受付終了時間は診療科によって異なります。

休診日 日曜日、祝日、年末年始

時間外診療 24時間365日対応 お問い合わせ:072-681-5717(代表)

